

令和4年度行政事業レビューシート (内閣府)

事業名	グローバル・スタートアップ・アクセラレーションプログラム			担当部局庁	科学技術・イノベーション推進事務局	作成責任者	
事業開始年度	令和5年度	事業終了(予定)年度	終了予定なし	担当課室	参事官(イノベーション推進担当)	武田 憲昌	
会計区分	一般会計						
根拠法令 (具体的な条項も記載)	内閣府設置法(平11法89)第4条、第40条の4			関係する計画、通知等	第6期科学技術・イノベーション基本計画(令和3年3月26日閣議決定) 統合イノベーション戦略2022(令和4年6月3日閣議決定)		
主要政策・施策	科学技術・イノベーション			主要経費	文教及び科学振興		
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	我が国経済の新陳代謝を促し、継続的な経済発展を遂げるためには、スタートアップの大規模な成長とグローバル進出を可能とする「世界に伍するスタートアップ・エコシステム」を形成することが不可欠であり、スタートアップのグローバル展開促進及びスタートアップ・エコシステム拠点都市の機能強化の取組を支援する。						
事業概要 (5行程度以内。別添可)	(1)グローバルアクセラレーションプログラムの実施 国内スタートアップの世界市場への展開、海外VCからの投資の呼び込み等を促すため、世界トップレベルアクセラレーターや世界の中核大学との連携等によるアクセラレーションプログラムを実施する。 (2)スタートアップ・エコシステム拠点都市の機能強化 海外VCや海外起業家の誘致、国内メンターの能力向上等、各拠点都市の特性に応じて、世界に伍するスタートアップ・エコシステムを形成するために必要な機能を強化する取組を支援する。						
実施方法	補助、交付						
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算 の 状 況		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度要求
		当初予算	-	-	-	-	2,401
		補正予算	-	-	-	-	
		前年度から繰越し	-	-	-	-	-
		翌年度へ繰越し	-	-	-	-	
		予備費等	-	-	-	-	
	計	0	0	0	0	2,401	
	執行額	0	0	0			
執行率(%)	-	-	-				
当初予算+補正予算に対する執行額の割合(%)	-	-	-				
令和4・5年度 予算内訳 (単位:百万円)	歳出予算目	令和4年度当初予算	令和5年度要求	主な増減理由			
	科学技術イノベーション創造推進費	-	2,401	重要政策推進枠:2,401			
	計	-	2,401				

活動内容 (アクティビティ)		グローバル・アクセラレーション・プログラムの実施								
活動目標及び 活動実績 (アウトプット)	活動目標	活動指標		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	4年度 活動見込	5年度 活動見込	
	海外アクセラレータを招へいし多様なアクセラプログラムを実施	プログラム参加企業数	活動実績	-	-	-	-	-	-	
			当初見込み	企業	-	-	-	-	100	
単位当たり コスト	算出根拠			単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	4年度活動見込		
	-		単位当たり コスト	-	-	-	-	-		
			計算式	-	-	-	-	-		
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	中間目標 -年度	目標最終年度 -年度	
	プログラム参加企業のグローバル展開に向けたマイルド変化	プログラム参加企業のうち海外展開に役立ったと回答した企業の割合(%)	成果実績	-	-	-	-	-	-	
			目標値	%	-	-	-	-	80	
			達成度	%	-	-	-	-	-	
根拠として用いた統計・データ名 (出典)	参加企業・大学へのアンケート等									
活動内容 (アクティビティ)		スタートアップ・エコシステム拠点都市の機能強化								
活動目標及び 活動実績 (アウトプット)	活動目標	活動指標		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	4年度 活動見込	5年度 活動見込	
	拠点都市を対象とした機能強化プログラムを実施	プログラム参加数	活動実績	-	-	-	-	-	-	
			当初見込み	回	-	-	-	-	8	
単位当たり コスト	算出根拠			単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	4年度活動見込		
	-		単位当たり コスト	-	-	-	-	-		
			計算式	-	-	-	-	-		
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	中間目標 -年度	目標最終年度 -年度	
	拠点都市におけるスタートアップインキュベーション機能形成促進	対象自治体のうちSUの海外展開や、各自治体の海外連携機能強化に役立ったと回答した自治体の割合(%)	成果実績	-	-	-	-	-	-	
			目標値	%	-	-	-	-	80	
			達成度	%	-	-	-	-	-	
根拠として用いた統計・データ名 (出典)	プログラム参加都市へのアンケート等									
政策評価、 新経済・ 財政再生 計画との 関係	政策 評価	政策								
		施策		政策評価書 URL	-					
	新 経 済 ・ 財 政 再 生 計 画 の 取 組 事 項	分野:	文教・科学技術	2. イノベーションによる歳出効率化等						
		(新経済・財政再生計画改革工程表 2021) URL:	https://www5.cao.go.jp/keizai-shimon/kaigi/special/reform/report_211223_2.pdf							
		該当箇所	P101 13b.スタートアップ・エコシステム拠点都市への支援や新しい日本版SBIR制度の促進など、スタートアップ創出・成長の支援等、イノベーション・エコシステムの形成に向けた取組の推進。							

事業所管部局による点検・改善

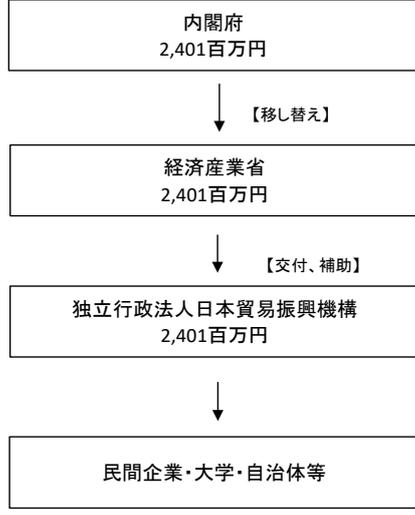
項目		評価	評価に関する説明
国費投入の必要性	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。	○	スタートアップの育成は日本経済のダイナミズムと成長を促し社会課題を解決する鍵であるため、社会のニーズを的確に反映している。
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。	○	スタートアップの成長とグローバル進出を可能とする「世界に資するスタートアップ・エコシステム」を我が国として形成していくためにも、国が行うべき事業である。
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。	○	「新しい資本主義のグランドデザイン及び実行計画」「統合イノベーション戦略2022」「デジタル田園都市国家構想基本方針」等において、スタートアップ創出の促進やスタートアップ・エコシステムの実現が求められており、優先的に実施すべき事業である。
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。	-	
	一般競争契約、指名競争契約又は随意契約(企画競争)による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。		
	競争性のない随意契約となったものはないか。		
	受益者との負担関係は妥当であるか。	-	
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。	-	
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	-	
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	-	
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	-	
繰越額が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	-		
その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか。	-		
事業の有効性	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。	-	
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。	-	
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	-	
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	-	
関連事業	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)	-	
	事業番号	事業名	
点検・改善結果	点検結果		
	改善の方向性		

外部有識者の所見			
行政事業レビュー推進チームの所見			
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況			
備考			
関連する過去のレビューシートの事業番号			

令和3年度			
-------	--	--	--

※令和3年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何をやっているかについて補足する)
(単位：百万円)



- (1) グローバルアクセラレーションプログラムの実施
- (2) スタートアップ・エコシステム拠点都市の機能強化